



2015年度 年主題〈平和をつくる〉

0・1・2歳児 6月主題 「わくわくする」
 月のねがい
 ◎園生活に慣れ、安心して過ごす
 ◎保育者や身近な友だちと好きな遊びを楽しむ
 ◎さんびかに親しむ

3・4・5歳児 6月主題 「おもしろい」
 月のねがい
 ◎遊びや生活の中で、自分の気持ちを伝えようとする
 ◎身近な自然・生き物や様々な素材にふれる
 ◎聖書の話やさんびかに親しむ



ふかいいうなずき「ほお～～！」

初夏のきらきらした日差しから、せんだんの木がやさしい木陰を作ってくれています。その園庭で、シャボン玉や積み木遊びを楽しんでいる子どもたちです。それは4月初めの出来事でした。年長の男の子たちが、ブロックで楽しく遊んだのはよかったです。うまく片付けられず、悪戦苦闘してやっとの思いでカゴに収めることができたことがありました。



そして5月末、久しぶりにそのブロックを園庭に広げて遊んでいました。お片付けのアナウンスが園庭に流れ始めたので、さて今度はどうするか？と見てみると…。ナント！前回の経験が生かされたのでしょうか、ブロックをきれいに並べて片付けている年長の男の子たちの姿がありました。「ハエ～やるじゃない！」と褒めていたら、残り10個くらいのブロックがなかなかうまくカゴに収まりません。またもや試練の始まりです。パズルをはめるように、あ～でもない、こ～でもない、知恵を絞る子どもたち。しばらくして、「これでいいんじゃない！」とスッキリはまったのです。その時でした。それを見ていた子が「ほお～～！」と深く感嘆のうなずきをしました。その何とも言えない共感のうなずきは、聞いていたこちらの方が感激してしまうほどでした。

6月の主題に「おもしろい」「自分の気持ちを伝えようとする」とあります。子ども同士で、「それおもしろいね！」「すてきだね！」と共感出来ることはなんと幸せな瞬間でしょう。

今回の「ほお～～！」は、ちょっとタイヘンなことを体験をた後だからこそ生まれた、深い素敵なうなずきになったのだと思います。 園長

今月の聖句 「わたしたちは互いに愛し合ひましょう。」

ヨハネ4:7

今月のテーマ聖句はもっとも美しく、そして、もっとも重い言葉です。この原語アガペー()は気の合う人を好きになる愛とはちょっと違います。どちらかといえば母の愛に近い愛です。無私の愛です。この愛が人類の中に根付けば争いや戦争は起きません。

さて、パウロという1世紀の使徒はコリント人に宛てた手紙の中で次のように書き送っています。「愛は寛容 親切、愛は人を妬まず、人に自慢せず、高慢にならない、非礼を行わず、怒らず、人の悪を批判せず、自分の利益追求をしない、愛は不正をさけ、善を求む、愛はすべてを我慢し、耐え忍ぶ、それでいて希望を失わない、これがアガペー()愛である。」愛の意味づけともいえる徳目ではないでしょうか。

以上のすべてが実行できなくても、まずは自分にできることから、生活の中で意識し、実行してみましようか。 きっと、すばらしい「愛の実」を結びますよ。 前理事長 池田公榮



6月の行事予定

6日(土)	家族の日参観
10日(水)	海あそび・弁当日
18日(木)	海あそび・弁当日

7月の行事予定

七夕訪問	
2日(木)	プール遊び(市営プール)
8日(水)	プール遊び(市営プール) 弁当日
14日(火)	給食試食会(あい組)
15日(水)	給食試食会(のぞみ組)
16日(木)	誕生会(6・7・8月生まれ)
17日(金)	一学期終園日
11・12日	お泊り保育(年長児)

幸せになる”脳はだっこで育つ” —強いやさしい賢い子にするスキンシップの魔法—

山口 創 著

子どもが小さければ小さいほどスキンシップの果たす役割は大きくなりますが、なかでも出産直後から、生後一年くらいまでは親からのスキンシップがとても重要です。 出産後、早くから子どもに触れることはお母さん、お父さんにとってもよいことで、子どもに対する愛情が自然に高まります。親との愛着関係を築くのに特に重要なのが生後半年から2才くらいまでです。

愛着関係とは、”特定の養育者との間に作られる心のまざる”をいい、愛着関係が上手く築かないと、成長してからさまざまな精神的障害や問題行動が出てくるのが知られています。

それだけに乳児の時期の温かなスキンシップは、子どもの発達に大きな意味と役割をもちます。

触覚の研究では、人は「スベスベ」「やわらかい」の二つの要素に対してもっとも気持ち良さを感じる事が分かっています。

その特徴を2つとも兼ね備えているのが**赤ちゃんの肌**です。赤ちゃんの肌がスベスベして柔らかいのは、親から触られるため、たくさん抱っこされて愛してもらったためなのかもしれません。ですから「何をしても赤ちゃんだから分からない」と考えず、いっぱいスキンシップをして下さい。

またその反対に、「もう赤ちゃん期を過ぎたから、スキンシップするの到手遅れ」なんてことも全くありません。スキンシップが足りなかったと思ったら、何歳からでも大丈夫です。足りなかったものを取り戻すために、こちらからも思う存分スキンシップして下さい。

さらに、「自分こそ子どものころ、スキンシップが足りなかったのかもしれない」と気づいたお母さん、お父さんがいらっしゃるかもしれません。

けれども大人もスキンシップに手遅れはないのです。子どもと楽しく触れ合うことで、親もスキンシップの恩恵をたくさん受ける事が出来るのです。

(※次回は”愛情ホルモン「オキシトシン」とは?”について掲載します。)

※子育て支援として、親子ベビーマッサージや、親子触れ合い遊びを実施しています。詳しくは園にお尋ねいただくかホームページをご覧ください。



梅雨来たりなば真夏遠からじ

園庭いっぱいには広がっていく大小様々なシャボン玉。真っ青な空の下、新緑の葉を揺らす風、驚きに満ちた子どもたちの笑い声。晴れた日の園庭で繰り広げられる子どもたちの営みは、本当に美しい絵画のようです。神様が子どもたちの内側に注がれた生命のエネルギーが溢れています。

さて、子どもたちは気づいぶん園生活にも慣れてきました。朝の礼拝や体操にも落ち着きを感じられます。それぞれに集団の中での自分というものにも何かを感じてきています。日々の経験から得る「驚き」や「気づき」が興味・関心を広げていきます。その中で育っていくものが、「考える力」です。考える力を伸ばしていくためには、何よりも子ども自身の自発性、やりたいと思う気持ちになることが大切ではないでしょうか。指示・命令や許可を得るよう援助していきたくも、子ども自身が考えて、知恵を出し工夫するよう援助していきたくも必要です。そして「注意の集中心」と言われる何かに熱中できることも必要です。好きなことに時間を忘れて没頭した経験は誰にもあることでしょうか。好奇心をそえられるモノやコトに出会うことにより、熱中体験を重ねていければと思います。

梅雨と言えど雨。地上の生きとし生けるものを支える水の源でもあります。植物を形成する細胞の化学反応は水を媒介として行われますが、成長に必要なあらゆる物質も、また水によって生物体の内部に運ばれます。木々に水を提供し続けるのは「根」です。雨量が多く強風の少ない地に育つ木は、そびえ立つような大木でも、たまに強風が吹くと簡単に倒れてしまうようなのですが、地下水が深いところにあるような場所では、根も長く伸びていき、幹をしつかりと支えられるのです。苦しみや試練に出会った時、それを乗り越えられる力を得るのは、安易な水の補給ではなく、深く根を伸ばすための心の葛藤や克己心ではないでしょうか。

今月は家族の日参観があります。お時間の許される範囲で、お子さんたちの園でのありのままの様子をご覧いただければ幸いです。ひとり一人がそれぞれの時間の中で確実に育っています。何に心を向けているのか、どんなことに共感し楽しんでいるのか、苦手なことにはどう反応しているのか等々。

湿度が上がると、疲れも出てきて体長を崩しやすいつ時期でもあります。また、気候的には様々な感染症に罹りやすくなります。どうぞ早寝・早起き・朝ごはんを元気に登園できますようご協力お願いいたします。

学園長

まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん

まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん まりすこどもえん